

段階	主なはたらきかけ	思い・考え	「学んだこと」	子どもの行動	保健体育科で重視する力
出会う		ティーボールは、相手とのかけひきをするのがおもしろい	互いにカバーし合っていく気持ちをもつことが大切だ		
	○動きを照らし合わせる Gボールを使った体操を取り組んでみたいという思いをもつために、Gボールを使って体操をする大学生の映像を視聴する場を設定する	Gボールを使った体操演技はおもしろそうだ。やってみよう 1~3時間			★個の動きのよさに気づく力 ・Gボールを使ったバウンドやバランスなどの技術に気づく
		ボールの上に座ったり、うつぶせで弾むのは難しい	みんなでドリブルやスローをそろえようと楽しい	ボールに沿って転がると、うまく受け身がとれて安心だ	
		上下の動きを大きくして、弾む動作に迫力をつけたい	ペアでバランスをとってボールの上に乗れるようになりたい	ボールの上を滑る動きを、ペアと息を合わせて成功させたい	★個の動きのよさに気づく力 ・ボールの上でバランスをとったり、回転するための練習方法を考えたりする
	○動きを照らし合わせる 体操の迫力を出す要素に気づくために、大きな動作をそろえることや、技のつなぎ方、仲間の立ち位置を工夫しているチームの体操を見る場を設定し、意見交流を行う	Gボールを使った体操を組み合わせることで、体操演技がくれそう 考えた体操を組み合わせ、演技を考え始める 4~10時間 (本時10)			★集団の動きのよさに気づく力 ・他のグループの演技に着目し、多様な動きの種類に気づく
深める	○記録を残す 迫力を出す要素の足りなさに気づき、チームの課題を明確にするために、iPadを用意して、映像を利用した話し合いの場を設定する	迫力のある体操演技にするには、多彩な種類の運動をつかって動きをそろえたり、技のつなぎ方を工夫したりしないといけない			
		ドリブルの高さを調節して、左右対称の構成を組み込もう	動きをそろえるだけでなく、ずらす動きも効果的に使おう	ペアやトリオなど、体操をする人数にも変化をつけてみよう	★集団の動きのよさに気づく力 ・映像を利用し、自分のチームの体操を分析し、よりよい動きを考える
	○動きを照らし合わせる ダイナミックな演技をする要素に気づくために、動きのずれや隊形移動を工夫しているチームの演技を見る場を設定し、意見交流を行う	広い範囲で隊形移動をすると、迫力のある体操になりそう		ずれの組み込み方について大学生にアドバイスをもらいたい	映像のように、チーム全員でベルトコンベアを表現しよう
つなげる		ダイナミックな体操にするためには、動きのずれを有効に組み込んだり、隊形移動を工夫したりしなければならない 体操演技の構成を見直し、工夫して、新しい動きを取り入れ始める 11~13時間			
	○動きを照らし合わせる 体操演技を魅せることの楽しさに気づくために、発表会を設定する	動きをもちあい、みんなで一つの演技をつくってみたい	チームの曲に合わせて、体操演技を見せ合いたい	もっと新しい体操を作って、見栄えをよくしていきたい	
高める		みんなで一緒に、乗る、弾む、転がる技を組み合わせることで、迫力を出したり、見せ合ったりするのはおもしろい 学級の仲間と発表の場を求めようとする			
		今後も仲間と関わりを大切にしたい	勝敗以外の楽しさを、今後の種目でも見つけていきたい		

1 単元 チャレンGボール (体との対話Ⅱ・体づくり運動)

2 単元の構想

(1) 本単元で目指す子どもの姿

大学生の体操演技の映像を鑑賞した子どもは、Gボールを使って体操をしたいと考える。兄弟チームで体操を見せ合い、意見交流を行う中で、ダイナミックに魅せるためには、多彩な動きや隊形移動の工夫が大切であると気づく。乗る、弾む、転がるなどの動きを組み合わせることで運動をおもしろく感じた子どもは、オリジナルの体操を作り、仲間と発表の場を求めようとする。

(2) 本単元で伸ばしたい力

本学級の子どもは、前単元のティーボールにおいて、相手の狙いを予測して守備シフトをしいたり、仲間のミスのカバーする動きを考えたりした。連携した動きをすることで、人との関係を築く力を高めることができた。

本単元は、Gボールを使って体操演技を行う。Gボールは、乗る、弾む、転がる技を基調とし、動きのバリエーションが多く、多彩な動きを取り入れた運動が期待できる。また、ペアやトリオで体操をつくると、さらに動きのバリエーションが増え、構成を工夫することができ、子どもの追究の可能性を大きく広げる。これらの利点を生かし、仲間と関わり合いながら体操演技を作っていく。子どもは、よりよい動きを求め、体操を考えていく中で、集団の動きのよさに気づく力を高めていく。

(3) はたらきかけと「学んだこと」を行動につなげる子どもの姿

出会う段階では、大学生がGボールを使って、体操演技を行う映像を鑑賞する。演技に興味をもった子どもは、Gボールを使った動きを考え始める。Gボールを使った動きを組み合わせることで、体操演技がくれそう、そのためには個人の動きを考えないといけないと気づいた子どもは、チームでGボールを使った動きを考え始める。

深める段階では、子どもはカッコいい体操をつくりたいと思い、多様な動きの種類を考えたり、練習を行ったりする。そこで、体操の迫力を出す要素に気づくために、大きな動作をそろえることや、動きのつなぎ方、仲間の立ち位置を工夫しているチームの体操を見る場を設定し、意見交流を行う。迫力のある体操にするためには、多彩な動きをそろえたり、技のつなぎ方を工夫したりすることが大切だと気づき、一人一人が考えた運動を組み合わせ、体操演技をつくり始める。さらに子どもは、チームの体操をよりダイナミックにしたいと考える。そこで、動きのずれや隊形移動の仕方を工夫しているチームの体操を見る場を設定し、意見交流を行う。ダイナミックな体操にするためには、動きのずれを有効に組み込んだり、隊形移動を工夫しなければならないことに気づき、体操演技の構成を見直し、新しい動きを取り入れ始める。

つなげる段階では、子どもは、自分たちがつくってきた体操を、より多くの人に見てもらいたいと考える。そこで、これまでの練習の成果を実感し、体操演技を魅せることの楽しさに気づくために、学年でGボール体操発表会を行う。乗る、弾む、転がるなど、Gボールだからこそできる体操を組み合わせ、体操演技することはおもしろいと感じた子どもは、オリジナルの体操をつくり、学級の仲間と発表の場を求めようとする。

3 前時までの追記

①青チーム	
1 ME バウンドや倒立などの技を上達させていくことが、演技の質を高めていくことにつながる	5 IY 技を繰り返すタイミングをそろえることが、体操の見栄えをよくする。そろえる箇所を仲間と共有する
2 HTr 全員が常に動くことが大切である。個々の立ち位置と隊形移動に変化をつけるとダイナミックな演技になる	6 AH みんなで常に動くことが大切。演技をする人だけでなく、支える人の動きまで考えて構成すべき
3 YY 基本技の質を高めていくことが、全体を向上させる。できる動きを組み合わせで体操をつくるのが大切	7 ST 簡単な動きや個々の配置を工夫すると、きれいな体操演技になる。つなぎ方もスムーズにすることが大切
4 TM バランスや腹打ちバウンドなどの個人的な技をしっかりと身につけていくことが大切である	

②橙チーム	
1 OK 綱渡りなどの技を工夫し、やりやすく改良するなどしてできるものと考えて、全員で演技をすることが大切	5 GN 曲のどのタイミングで動き出すとよいかをチームでそろえて演技をすることが大切
2 IR 男女で交互にバウンドをしたり、左右対称の動きを組み込んだりすることがダイナミックな演技につながる	6 MK ダイナミックな演技にするためには、最初と最後のポーズにインパクトを出す構成がよい
3 MD 曲のどのタイミングで動き出すとよいかを工夫し、体操と体操とのつなぎを滑らかにすべき	7 NM 仲間とのかけあいや、全体で行う最初と最後のポーズをそろえることが、ダイナミックな演技につながる
4 KT 演技の見栄えをよくするために、ウェーブやバウンドの隊形を工夫することが大切である	8 SY 全体のバランスを考えた配置と、多彩な隊形移動を行うことがダイナミックな演技につながる

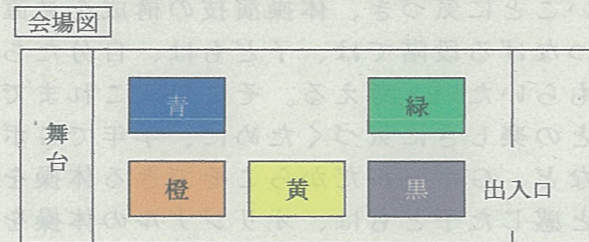
③黄チーム			
1 HN ずれや隊形移動を効果的に使い、ストーリー性のある演技構成にすることが大切である	2 TIm 曲のリズムに乗り、タイミングをそろえることがダイナミックな演技につながる	3 NA チームで一体感を出すことが大切。個人の動きより、複数の演技を多く組み合わせるべきである	4 HI 新しい技をつくり出して、全員と一緒に楽しく演技をすることが、ダイナミックな演技につながる
5 TM オリジナルの動きを取り入れてみたり、多彩ない隊形移動を組み込むことがダイナミックな要素になる	6 HH そろえただけでなく、隊形を工夫することや、体操のつなぎをスムーズにすることが大切である	7 TR 新しい動きを組み込んで、ずらしを効果的に使って曲調にあった演技構成を考えている	8 HS 体操の完成度を高めることと、体操の順番を考えて、つなぎをきれいにすることが大切である

④黒チーム		⑤緑チーム	
1 SK ペアやトリオ技を多く取り入れ、チームの一体感を出すことが、ダイナミックな演技につながる	5 TIs 曲調にあった動きを組み合わせ、体操のつなぎのタイミングをそろえて演技をすることが大切だ	1 YS アクロパティックな動きを、そろえて演技をすることがダイナミックな演技につながる	5 TS 動きのずれや全員での技を効果的に組み込んで構成をしていくと、ダイナミックな演技になる
2 IM ダイナミックな体操にするために、動きをずらすことや隊形移動のバリエーションを増やすことが大切	6 HTs 多彩な体操を取り入れて、演技を構成することが、ダイナミックな演技につながる	2 HS 左右対称の動きを入れたり、動きをそろえることが、ダイナミックな演技につながる	6 KR ダイナミックに魅せるには、多彩な動きと、それをそろえて体操をすることが大切である
3 KM 難しい技をたくさんこなすよりも、全員ができる体操を全員でそろえて行うことが大切	7 IY 難しい体操よりも、簡単な動きを多く組み合わせ、立ち位置や移動を工夫することが大切だ	3 JK 曲調にあった体操を組み合わせ、隊形を工夫し、演技構成をすることが、ダイナミックな要素につながる	7 IS 人の配置や、男女交互の動きを取り入れるなどの要素が、ダイナミックな演技につながる
4 IS 演技をきれいに見せるためには、ウェーブなどのずらしを組み込んだオリジナルな要素を入れていきたい	8 HY できる動きを増やし、多彩な動きを組み込んで演技を構成していくと、ダイナミックになる	4 OM 全員で動きをそろえること。そして、曲調にあった体操を組み込むことが大切な要素だ	8 IM 全員で動きを合わせることも、また対照的にアクロパティックな動きも変化をつけるために入れていくべき

④黒チーム		⑤緑チーム	
1 SK ペアやトリオ技を多く取り入れ、チームの一体感を出すことが、ダイナミックな演技につながる	5 TIs 曲調にあった動きを組み合わせ、体操のつなぎのタイミングをそろえて演技をすることが大切だ	1 YS アクロパティックな動きを、そろえて演技をすることがダイナミックな演技につながる	5 TS 動きのずれや全員での技を効果的に組み込んで構成をしていくと、ダイナミックな演技になる
2 IM ダイナミックな体操にするために、動きをずらすことや隊形移動のバリエーションを増やすことが大切	6 HTs 多彩な体操を取り入れて、演技を構成することが、ダイナミックな演技につながる	2 HS 左右対称の動きを入れたり、動きをそろえることが、ダイナミックな演技につながる	6 KR ダイナミックに魅せるには、多彩な動きと、それをそろえて体操をすることが大切である
3 KM 難しい技をたくさんこなすよりも、全員ができる体操を全員でそろえて行うことが大切	7 IY 難しい体操よりも、簡単な動きを多く組み合わせ、立ち位置や移動を工夫することが大切だ	3 JK 曲調にあった体操を組み合わせ、隊形を工夫し、演技構成をすることが、ダイナミックな要素につながる	7 IS 人の配置や、男女交互の動きを取り入れるなどの要素が、ダイナミックな演技につながる
4 IS 演技をきれいに見せるためには、ウェーブなどのずらしを組み込んだオリジナルな要素を入れていきたい	8 HY できる動きを増やし、多彩な動きを組み込んで演技を構成していくと、ダイナミックになる	4 OM 全員で動きをそろえること。そして、曲調にあった体操を組み込むことが大切な要素だ	8 IM 全員で動きを合わせることも、また対照的にアクロパティックな動きも変化をつけるために入れていくべき

④黒チーム		⑤緑チーム	
1 SK ペアやトリオ技を多く取り入れ、チームの一体感を出すことが、ダイナミックな演技につながる	5 TIs 曲調にあった動きを組み合わせ、体操のつなぎのタイミングをそろえて演技をすることが大切だ	1 YS アクロパティックな動きを、そろえて演技をすることがダイナミックな演技につながる	5 TS 動きのずれや全員での技を効果的に組み込んで構成をしていくと、ダイナミックな演技になる
2 IM ダイナミックな体操にするために、動きをずらすことや隊形移動のバリエーションを増やすことが大切	6 HTs 多彩な体操を取り入れて、演技を構成することが、ダイナミックな演技につながる	2 HS 左右対称の動きを入れたり、動きをそろえることが、ダイナミックな演技につながる	6 KR ダイナミックに魅せるには、多彩な動きと、それをそろえて体操をすることが大切である
3 KM 難しい技をたくさんこなすよりも、全員ができる体操を全員でそろえて行うことが大切	7 IY 難しい体操よりも、簡単な動きを多く組み合わせ、立ち位置や移動を工夫することが大切だ	3 JK 曲調にあった体操を組み合わせ、隊形を工夫し、演技構成をすることが、ダイナミックな要素につながる	7 IS 人の配置や、男女交互の動きを取り入れるなどの要素が、ダイナミックな演技につながる
4 IS 演技をきれいに見せるためには、ウェーブなどのずらしを組み込んだオリジナルな要素を入れていきたい	8 HY できる動きを増やし、多彩な動きを組み込んで演技を構成していくと、ダイナミックになる	4 OM 全員で動きをそろえること。そして、曲調にあった体操を組み込むことが大切な要素だ	8 IM 全員で動きを合わせることも、また対照的にアクロパティックな動きも変化をつけるために入れていくべき

- 動きのずれについての考え
- 隊形移動についての考え



4 本時の構想 (10/13)

Gボールに出会った子どもは、ボールに乗ったり、弾んだりして体操の動きづくりを楽しみ始めた。また、チームで曲に合わせて動きづくりをする中で、新しい技ができるようになって喜んだり、多彩な動きを作り出したりしてきた。チームごとのオリジナル体操は、仕上げの段階にきている。

本時は、動きのずれや隊形移動のバリエーションを増やし、Gボール体操をダイナミックに魅せるための要素に気づく。仲間と関わり合いながら、個々の動きをずらして立体感を出したり、隊形移動のバリエーションを豊富に組み込んだりしている黄チームの体操演技を見た後、意見交流を行う。ずれや隊形移動の意識が高い青2HTrや緑7ISは、意見交流の中で、黄チームの動きのずれや隊形移動についての発言をするであろう。自分たちの体操演技の隊形について、単調さをなくしていきたいと授業記録に記していた黒2IMは、チーム練習の時間において隊形のバリエーションを増やそうとする発言をするであろう。チームの体操演技をよりダイナミックにするために、他チームの隊形移動の仕方を取り入れてみたり、オリジナルにつくったずれの動きを組み込んだりしながら、自分たちの体操演技に生かしていこうとする。

